



TOYO UNIVERSITY

東洋大学 大学院 赤羽台キャンパス 2027

Toyo University
Graduate School
Akabanedai
Campus 2027

社会福祉学研究科

・社会福祉学専攻

ライフデザイン学研究科

・生活支援学専攻

・ヒューマンライフ学専攻

・人間環境デザイン専攻

健康スポーツ科学研究科

・健康スポーツ科学専攻

・栄養科学専攻



赤羽台キャンパスは、次のステージに。

2023年度から、健康スポーツ科学研究科を開設。

また、同じく2023年度より社会福祉学研究科が

白山キャンパスから赤羽台キャンパスへ移転したことで、

既存のライフデザイン学研究科と共に「福祉」「健康」「スポーツ科学」の

分野の課題解決に挑む最先端の研究を深めるにふさわしい環境へ進化しました。

Column

2023年竣工の新校舎

2023年4月に新校舎・図書館・体育館が完成しました。新国立競技場などを手掛ける隈研吾建築都市設計事務所が建築設計を担当しています。既存校舎のWELLB HUB-2とはガラス張りのブリッジでつながっています。また、体育館は躍動感を演出し、サステナビリティに配慮した「木屋根架構」を採用しています。



健康スポーツ科学研究科

健康やスポーツへの人々の関心が飛躍的に高まっている近年の日本及び世界において、運動や栄養を媒体とした健康増進やスポーツ振興に、エビデンスをもって科学的に取り組める専門性の高い人材が広く求められることから、当研究科では健康スポーツ学、スポーツ科学、栄養科学、ヘルスケアに関する深い見識を持った高度専門職業人ならびに教育研究者を養成します。



社会福祉学研究科

東洋大学の社会福祉教育100年の歴史の礎の上に日本の社会福祉学の研究・教育の中心を目指します。特に社会福祉の問題を分析する能力や解決に必要な社会資源を創造・開発する能力の習得を重視し、学内研究拠点等での実績や、国内外でのフィールド活動を踏まえた教育・指導を通じて、社会福祉の理論と実践に関して専門的な知見と実践力を有する人材を養成します。

ライフデザイン学研究科

現代社会における複雑化・多様化した生活上の諸問題解決のため、生活者に密着した福祉、保育、環境とモノのデザインの複数領域からアプローチします。各領域における実践現場に密着した高度な教育を展開し、人々のQOL(生活の質)向上に貢献し得る高度専門職業人ならびに研究者、教育者を養成します。



社会福祉学研究科

Graduate School of Social Welfare

東洋大学 大学院 Toyo University Graduate School

■ 社会福祉学専攻 博士前期課程／博士後期課程(昼夜開講)

本研究科は、前期課程においては、現場で要求されているスーパーバイザーとしての役割を果たせる専門性を備えた人材や社会福祉の知識と技術を生かしながら国内外で活躍できる人材を育成します。さらに、後期課程においては、そうした専門性の高いマンパワーを養成する大学、専門学校における教員の育成を目指し、社会的要請に応じていきます。

博士前期課程

人々が抱えるさまざまな生活問題の中で、社会的支援が必要となる福祉問題に対し、問題解決に向けた政策や実践に関する専門的な知見と実践力を有する人材を養成することを目的としています。また、社会福祉の問題に対する分析力やそれらに対応するために必要な社会資源を創造・開発する能力を習得させることを目的に、本専攻の教員が関わっている学内研究拠点等での実績や、国内外でのフィールド活動を踏まえた教育・指導を行います。



博士後期課程

人々が抱えるさまざまな生活問題の中で、社会的支援が必要な福祉課題に対して、その問題構造を分析し対応する方途を探求していくための高度な研究・リサーチ能力を有する人材を養成することを目的とします。また、社会福祉に関する研究・リサーチのための研究方法論(歴史研究、政策研究、アドミニストレーション研究、参加型アクションリサーチ、プログラム開発と評価等)を十分に踏まえた研究が行える能力とともに、社会福祉の普遍的な価値を追究する高度な研究成果を国内外に発信できる能力を習得させることを目的とします。



教員紹介 社会福祉学専攻

教員名	テーマ	研究指導 (博士前期)	研究指導 (博士後期)
荻野 剛史	難民、外国籍住民に対するソーシャルワーク	●	●
小野 道子	子どもの権利、災害時の子ども支援	●	—
金子 光一	社会福祉史研究、社会福祉原論	●	●
加山 弾	地域福祉、コミュニティワーク、ソーシャル・インクルージョン	●	●
志村 健一	ソーシャルワーク、社会調査(特にグラウンデッド・セオリー)、ネットワーク	●	●
高山 直樹	自立支援、地域生活支援、エンパワメント、スティグマ、障害者	●	●
佐藤 亜樹	ソーシャルワーク援助技術・方法論、人間の幸福とペット、ペット・アタッチメント尺度の妥当化	●	—
戸井 宏紀	ソーシャルワーク、ソーシャルワーク理論、司法ソーシャルワーク	●	—

詳しくはこちら



ライフデザイン学研究科

■生活支援学専攻 修士課程(昼夜開講)

本専攻は、「高齢者・障害者等への福祉」を専門とする高齢者・障害者支援学コースと、「保育・幼児教育や児童福祉」を専門とする子ども支援学コースの2コースで構成しています。教育においては、福祉・保育現場での高度な実践能力を養うため、学外へのフィールドワークや参与型研究を積極的に取り入れます。また、コース横断的な履修が可能なカリキュラムや、各領域の院生および教員との情報交換・指導の機会を専攻内で積極的に設けることによって、広い視野から現場の問題解決に挑む、福祉・保育領域の高度専門職業人を養成します。

■ヒューマンライフ学専攻 博士後期課程(昼夜開講)

本専攻は生活支援学専攻を基礎とします。福祉・保育という、子どもから高齢者、障害者など多様な生活者の生活、すなわち「ヒューマンライフ」分野における実践的課題を、国際的かつ学際的な見地から研究し、課題解決のための新たな概念モデルと方法論を構築・提示することができる研究者、ならびにその成果を各分野の専門従事者に還元する教育者を養成します。カリキュラムにおいては、各領域の高度な専門知識・研究手法を教授する科目を配置し、学生が関連諸科学における実験・調査・研究方法に習熟し、研究者として自立して国内外で活躍できる能力を養います。キャリアアップを目指して入学される福祉・保育の各関連領域の専門職や、専門職養成機関において教員として働く方々を歓迎します。現場における実践上の問題を解決したいという学生の関心に応えるため、研究指導においては、臨時的知見を学位論文にまとめるための研究手法の教授のほか、現場での高度な実践力・指導力を養う教育を行い、問題解決指向型の臨床研究能力の醸成を図ります。

教員紹介 高齢者・障害者支援学コース／分野

教員名	テーマ	研究指導 修士課程※1	研究指導 博士後期課程※2
早坂 聡久	高齢者福祉論、福祉経営、非営利組織、福祉社会学	●	●
古川 和穂	介護福祉学、高齢者リハビリテーション、自立支援	●	●
八木 裕子	介護福祉学、災害介護、訪問介護、介護福祉教育、ソーシャルケアワーク	●	●
山本 美香	居住福祉論、地域福祉論(小地域福祉活動)	●	●
吉浦 輪	医療福祉、社会福祉援助論、多職種連携協働論(IPC/IPE)、多重問題家族アプローチ	●	●
吉田 光爾	精神保健福祉論、訪問(アウトリーチ)支援、プログラム評価	●	●
的場 智子	患者団体、当事者組織、Self-Help	●	—

※1 生活支援学専攻 ※2 ヒューマンライフ学専攻

教員紹介 子ども支援学コース／分野

教員名	テーマ	研究指導 修士課程※1	研究指導 博士後期課程※2
内田 千春	保育内容、多文化共生、コミュニティ、保育者・教員養成、就学前教育の国際比較	●	●
嶋崎 博嗣	幼少児の運動教育、幼少児の健康教育	●	—
鈴木 崇之	子ども家庭福祉	●	—
中道 直子	発達心理学、乳幼児期の遊び、社会的認知、社会的学習	●	●
南野 奈津子	児童家庭ソーシャルワーク、多文化ソーシャルワーク	●	●
内田 塔子	子どもの権利、子どもにやさしいまち、子どもの意見表明・参加	●	—
高橋 健介	幼児教育、子どもの遊び、保育の質	●	—
深津 さよこ	保育学、乳児保育、子育て支援、保育環境	●	—

※1 生活支援学専攻 ※2 ヒューマンライフ学専攻

詳しくはこちら



■ 人間環境デザイン専攻 博士前期課程／博士後期課程(昼夜開講)

本専攻は「建築・環境デザイン」、「道具・機器デザイン」、「製品・情報デザイン」の3コースで構成されています。それぞれの専門領域について深く学ぶとともに、近接する他分野への横断的な視点を持ち、総合的に問題をとらえ、利用者中心の環境やものづくりをデザインする「人間環境デザイン学」の専門家の養成を目指しています。インターンシップ科目など、国際的、学際的な教育研究を展開し、キャリアプランに応じたカリキュラムを展開します。

博士前期課程では、専門性の深化や包括的視点の修得を目指し、高度な知識・技術と実践的課題の解決手法を学ぶ講義、演習科目を配置するほか、企業や行政等との協働も行います。一級建築士受験に際しては、就学年数を実務経験年数に換算するためのインターンシップ科目も整備し、キャリアプランに応じたカリキュラムを構成します。

博士後期課程では、自立した研究活動や高度な専門的業務の従事に必要な、学識・研究活動能力や学位を取得できる研究指導体制を構築します。課程修了後に、デザイン事務所、企業のデザイン部門、公設研究所、医療機関、行政などの各機関で高度な専門性を発揮できる人材、あるいは大学や研究機関の研究者、企業などにおける企画やコンサルタント、コーディネーターに携わる人材の養成を目指しています。

教員紹介 建築・環境デザインコース

教員名	テーマ	研究指導 (博士前期)	研究指導 (博士後期)
荻原 雅史	歴史意匠、建築設計、建築計画、地域活性化	●	—
齋藤 博	まちづくり、地域デザイン、協働の都市計画、創造的都市論	●	—
富安 亮輔	建築計画、建築設計、高齢者の居住環境、災害時の住まい	●	—
仲 綾子	こども環境デザイン、建築計画、建築設計、ワークショップ	●	●
名取 発	建築構法計画、バリアフリー部品、中国の構法、解体	●	—
水村 容子	住宅計画、住居学、住環境計画	●	●

教員紹介 道具・機器デザインコース

教員名	テーマ	研究指導 (博士前期)	研究指導 (博士後期)
勝平 純司	モーションキャプチャーを使用した動作分析、福祉用具の開発や効果判定	●	●
近藤 存志	デザイン史、デザイン論、西洋建築史、イギリス芸術文化研究	●	●
高橋 良至	福祉工学、ロボット工学、メカトロニクス	●	●
嶺 也守寛	福祉デザイン工学、歩行分析・動作分析、スヌーズレン・Multisensory	●	●

教員紹介 製品・情報デザインコース

教員名	テーマ	研究指導 (博士前期)	研究指導 (博士後期)
池田 千登勢	ユニバーサルデザイン、プロダクトデザイン	●	●
大沼 敦	プロダクトデザイン、地域創生、伝統工芸	●	—
柏樹 良	プロダクトデザイン、ファニチャーデザイン、レスポンスバイロメント	●	—
松本 和也	プロダクトデザイン、UI/UXデザイン、デザイン表現手法	●	—



高齢者・障害者支援学コース／分野
社会福祉などの現場で働く多くの社会人院生が学んでいます



子ども支援学コース／分野
子ども支援学特論VIA(多文化共生保育論)の授業風景



人間環境デザイン専攻
インテリアデザイン特論の授業風景

健康スポーツ科学研究科

Graduate School of Health and Sports Sciences

■ 健康スポーツ科学専攻 博士前期課程／博士後期課程(昼夜開講)

健康スポーツ科学専攻では、健康寿命の延伸や競技力の向上、スポーツ傷害の予防のほか、保健体育および養護教育などの教育現場における高度な実践を可能とする人材、さらには国際的に活躍できる高度な専門能力や知識を有する人材を養成します。

■ 栄養科学専攻 博士前期課程／博士後期課程(昼夜開講)

栄養科学専攻は、従来の栄養学に加えて、機能性成分探索や生体応答の解析を行うニュートリションサイエンス、栄養疫学やヒト介入研究を行うニュートリションヘルスおよび未病対策方法の実践研究を行うニュートリションビジネスからなり、高度の専門性と社会で活躍する実践力を有する人材を養成します。

博士前期課程

健康やスポーツへの人々の関心が飛躍的に高まっている近年の日本及び世界においては、運動や栄養を媒体とした健康増進やスポーツ振興、アスリート支援に、エビデンスをもって科学的に取り組める専門性の高い人材が広く求められています。当研究科では健康スポーツ学、スポーツ科学、身体教育学、栄養科学に関する深い見識を持った高度専門職業人ならびに教育研究者を養成します。乳幼児から高齢者・障がい者等に至る幅広いフィールドにおける健康の増進や、スポーツを「する人」から「観る人」「支える人」を対象としたさまざまな局面におけるスポーツの振興に、個人から集団まで、自治体・学校から民間企業、地域社会から国際社会まで、様々なフィールドで貢献することを目的としています。



博士後期課程

運動及び栄養による健康増進・スポーツ振興及びアスリート支援の各分野において、国内に留まらず国際的にも活躍することが期待できる独立した研究者、教育者、スポーツや栄養関連の企業、官公庁、団体等において指導能力を発揮できる職業人を養成します。健康、スポーツ、栄養といった各専門分野の研究を自ら推進し、実践的かつグローバルな視点に立った課題設定能力と問題解決能力を習得させることを目的とします。



取得可能な資格(健康スポーツ科学専攻 博士前期課程のみ)

資格名	資格取得の条件
中学校教諭専修免許状(保健)	当該教科に関する授業科目を24単位以上修得
中学校教諭専修免許状(保健体育)	当該教科に関する授業科目を24単位以上修得
高等学校教諭専修免許状(保健)	当該教科に関する授業科目を24単位以上修得
高等学校教諭専修免許状(保健体育)	当該教科に関する授業科目を24単位以上修得
養護教諭専修免許状	当該教科に関する授業科目を24単位以上修得

所定の単位を修得することによって、取得可能な専修免許状の種類は左記の通りです。

ただし、取得しようとする免許状(中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教科)の1種免許状を取得もしくは資格を有していることが必要です。

詳しくはこちら



教員紹介 健康スポーツ科学専攻

教員名	テーマ	研究指導 (博士前期課程)	研究指導 (博士後期課程)
岩本 紗由美	アスレティックトレーニング学(コンディショニング・リコンディショニング)	●	●
内山 有子	学校保健学・養護教育学	●	—
金子 元彦	アダプテッド・スポーツ指導論	●	—
木内 明	東洋に伝わる身体観・健康観	●	—
神野 宏司	公衆衛生学、健康増進科学	●	●
今 有礼	運動生理学・生化学	●	●
土江 寛裕	ハイパフォーマンス論、トレーニング科学、バイオメカニクス	●	—
古川 寛	健康増進のためのトレーニング科学	●	—
江田 佳織	スポーツ心理学	●	—
鈴木 智子	エアロビクス論	—	—
竹村 瑞穂	スポーツ哲学・スポーツ倫理学	●	—
平野 智之	体育科教育学	●	—
二橋 元紀	アスレティックトレーニング学、神経生理学	●	—
細谷 洋子	スポーツ・舞踊の文化研究	●	—
水島 淳	スポーツコーチング	—	—
村田 宗紀	スポーツバイオメカニクス	●	—
山下 玲	スポーツマネジメント・スポーツマーケティング	●	●
田淵 絢香	解剖生理学	—	—

教員紹介 栄養科学専攻

教員名	テーマ	研究指導 (博士前期課程)	研究指導 (博士後期課程)
石田 達也	プロバイオティクスとプレバイオティクス、腸内細菌に関する研究	●	●
大上 安奈	運動および栄養摂取に伴う血管応答・適応に関する研究	●	●
太田 昌子	ライフステージや運動時におけるビタミンの生理機能に関する研究	●	●
加藤 和則	健康維持、疾患予防に寄与する食品機能成分と医薬資源の研究	●	●
高田 和子	アスリートの栄養管理、エネルギー代謝、たんぱく質代謝	●	●
宮越 雄一	発がん物質のスクリーニングと酸化的DNA損傷に関する研究	●	●
矢野 友啓	食理学的アプローチによる新規がん予防・治療戦略の構築	●	●
佐藤 綾美	老化および加齢性疾患に対する栄養素の機能に関する研究	●	—
吉崎 貴大	食事および睡眠の不規則さと心身の健康に関する研究	●	●
小西 可奈	食・栄養摂取と行動の調節に関する研究	—	—

※2026年6月時点の情報です。今後変更が発生した場合は更新データをアップしますので、最新の内容はQRコードからご確認ください。 ▶





入試日程（2027年4月入学）

2026年8月試験			2026年11月試験			2027年2月試験		
出願期間*	試験日	合格発表日	出願期間*	試験日	合格発表日	出願期間*	試験日	合格発表日
2026年 7月3日(金)～ 7月9日(土)	2026年 8月29日(土)	2026年 9月10日(木)	2026年 10月20日(火)～ 10月26日(月)	2026年 11月21日(土)	2026年 12月2日(水)	2027年 1月5日(火)～ 1月13日(水)	2027年 2月13日(土)	2027年 2月26日(金)

※専攻・入試種別によって、入試実施のない試験月があります。詳細は入学試験要項で確認してください。

大学院進学相談会 以下の日程で実施します。

2026年6月13日(土) 13:00～15:00	2026年10月10日(土) 13:00～15:00	詳細はQRコードから ご確認ください。
------------------------------	-------------------------------	------------------------



納付金（2027年度） *下記の金額は納入予定額のため、変更となる場合があります。

(単位:円)

研究科／専攻		学費				計
		入学金 (入学申込金)	授業料	一般施設 設備資金	実験実習料	
社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(博士前期課程) ライフデザイン学研究科 生活支援学専攻(修士課程)	本学出身者*	—	450,000	90,000	—	540,000
	他大学出身者	270,000	450,000	90,000	—	810,000
社会福祉学研究科 社会福祉学専攻(博士後期課程) ライフデザイン学研究科 ヒューマンライフ学専攻(博士後期課程)	本学出身者*	—	450,000	70,000	—	520,000
	他大学出身者	270,000	450,000	70,000	—	790,000
ライフデザイン学研究科 人間環境デザイン専攻(博士前期課程) 健康スポーツ科学研究科 健康スポーツ科学専攻(博士前期課程)	本学出身者*	—	450,000	90,000	70,000	610,000
	他大学出身者	270,000	450,000	90,000	70,000	880,000
ライフデザイン学研究科 人間環境デザイン専攻(博士後期課程) 健康スポーツ科学研究科 健康スポーツ科学専攻(博士後期課程)	本学出身者*	—	450,000	70,000	70,000	590,000
	他大学出身者	270,000	450,000	70,000	70,000	860,000
健康スポーツ科学研究科 栄養科学専攻(博士前期課程)	本学出身者*	—	550,000	130,000	120,000	800,000
	他大学出身者	270,000	550,000	130,000	120,000	1,070,000
健康スポーツ科学研究科 栄養科学専攻(博士後期課程)	本学出身者*	—	550,000	80,000	120,000	750,000
	他大学出身者	270,000	550,000	80,000	120,000	1,020,000

※本学の学部(通信教育課程・短期大学を除く)から大学院に進学する場合、および本学の大学院修士／博士前期課程から博士後期課程に進学する場合、入学金は免除となります。①入学金(入学申込金)の納入は初年度のみです。②納付金は、全額一括納入(全納)と、授業料・一般施設設備資金・実験実習料を年2回に分けて納入する分割納入(分納)を選択することができます。③納入した入学金(入学申込金)は、「東洋大学大学院の合格した研究科・専攻に入学し得る地位を取得するための対価」としての金員であるため、入学を辞退した場合であっても返還しません。また提出した書類は返還しません。④長期履修制度の納付金等の詳細は本学Webサイトにてご確認ください。

Access

東洋大学 赤羽台キャンパス
(WELLB HUB-2)

- ➡JR「赤羽」駅
西口から徒歩8分
- ➡国際興業バス
「赤羽台三丁目」バス停徒歩2分
- ➡東京メトロ南北線・
埼玉高速鉄道「赤羽岩淵(N19)」駅
2番出口から徒歩12分

Contact

入試に関する問い合わせ先

東洋大学 赤羽台事務課
Tel: 03-5924-2164
E-mail: mlags@toyo.jp

